

トキワハゼ (常磐爆ぜ)

名前の意味^{いみ}：いつも実をならせているから。「ときわ」には、いつも変わらないという意味がある。

分類：双子葉類、ゴマノハグサ科、サギゴケ属

(ゴマノハグサ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：キンギョソウ)

好きな場所：明るい湿^{しめ}った空き地、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴^{せうたけ}：背丈が小さい、薄紫色の花、大きく3つに切れ込む白い下の花弁。

種子の運ばれかた：種子はそのまま落ちる

花弁の数^{ごうべん}：合弁、2裂^{れつ} (5裂^{れつ})

花の時期：4－6月

食べ方：食べられない

見分け方：ムラサキサギゴケは、花が大きく、つるが出る。田んぼに生える。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)